



令和6年6月定例会

No.
103
2024.8.20

いいたて 議会だより

発行：福島県飯館村議会
編集：議会広報編集特別委員会



第3回いいたてナイター駅伝！

オープニングスタート小学生の部

箱根駅伝ランナー尾田寛幸さんと激走！

議案審議「ザ・議論」	2～3
一般質問「ズバリ村政ここが聞きたい!!」 ..	4～9
審議結果	10
議会活動報告・議会の動き	11
あの質問・提案“その後”どうなった？・編集後記	12

ザ・議論

4月臨時会では、予算案件1件、条例案件4件、その他案件7件が審議されました。6月定例会議会では、予算案件4件、条例案件3件、人事案件7件、その他案件2件、報告2件が審議されました。その議論の一部を紹介します。

第3回（4月）臨時会

【議案審議】補正予算

第7次総合振興計画策定に向けての追加予算について

質問 アドバイザーの選任について伺います。

答弁 アドバイザーについては、県内の大学教授等を予定しています。

質問 研修先等について伺います。

答弁 研修者は、担当職員3名とし、研修先として高知県土佐町、馬路村、徳島県上勝町を予定しています（5月に研修実施）。

【議案審議】条例制定

飯館村新規就農者技術習得管理施設設置条例について

質問 この施設の年間想定利用者数、担い手

の目標人数等を伺います。

答弁 施設の利用回数等（研修回数）の目標設定はありませんが、10年間で10名以上の新規就農者を目標に当該施設にて研修を行っていきます。

質問 この施設の目的・成果は、新規就農者を増やす他にありますか。

答弁 飯館村内での研修や農業関係団体が主催する会議やイベントが見込めますので、農業を通じた村内での交流機会の増加が見込めます。



▲飯館村新規就農者技術習得管理施設「きらり」

第4回（6月）定例会

国県に意見書を提出

県として学校給食無償化を実施することを求める意見書

●提出先

福島県知事、福島県教育長、福島県議会議長

●提出者

飯館村議会議長

●提出日

令和6年6月21日

●内容

物価上昇により、多くの保護者が深刻な中での子育てを余儀なくされています。35市町村が給食費を無償化し、19市町村が一部補助を実施していますが、財政上の理由で地域の負担差が問題です。県に対し学校給食費無償化の実施を要請します。

国として学校給食無償化を実施することを求める意見書

国として学校給食無償化を実施することを求める意見書

●提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣

●提出者

飯館村議会議長

●提出日

令和6年6月21日

●内容

全国で学校給食費無償化が進んでいますが、自治体の財政状況により実施の有無や負担に差が生じています。コロナ禍で給食の重要性が再認識される中、この問題の解決には国が無償化を実施する必要があります。国に対し、学校給食費無償化の早急な実施を要請します。

【議案審議】補正予算

鳥獣対策河川除草等業務について

質問 除草場所とその除草方法について伺います。

答弁 場所は、深谷ライスセンター後ろから関沢の中里橋までの約2.5kmと、関沢の榎ノ橋から小宮地区の飯樋川と合流する地点までの約1kmとなります。除草方法は、河川に繁茂する樹木や草の除草及び木の伐採、抜根となります。



▲交流センター後ろの河川の様子

質問 川底面を平らにする作業は実施するか。

答弁 川の堆積物を取

り除いたり、平らにすることは実施しません。

消防施設等解体撤去工事について

質問 どの場所の何を解体するのか伺います。

答弁 前田行政区内の火の見やぐらの解体撤去です。火の見やぐらの解体撤去については他の行政区からも要望がありますので、協議しながら解体していきます。

第7次総合振興計画策定支援業務にCS2

質問 当計画は、飯館村にとって大事な計画であります。令和6年度中行われる住民意識調査は、世帯主でなく村民全員へのアンケートが必要ではないか。

答弁 世帯主宛てに送りますが、アンケート項目の中でお子さんや高齢者に向けた質問を

設け、村民の声を聞いていきます。

小宮地区産業団地造成工事について

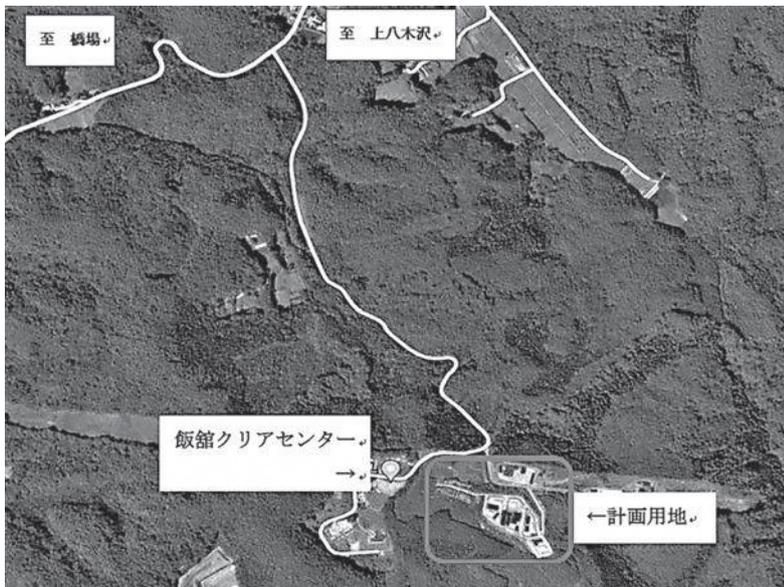
質問 造成工事内容と工期を伺います。

答弁 大半の部分が水路の整備工事です。U字溝が全体の延長で464.2m、集水ます

2か所、浸透ます14か所を今年度中に整備します。

〔議案審議〕人事案件

飯館村農業委員会委員8名の任命について同意を求められ、審議の結果、8名全員を同意することで議決しました。



▲小宮地区産業団地 予定地

議会を傍聴してみませんか

氏名の記入など簡単な手続きで、誰でも傍聴ができます。

なお、村のホームページ・イイタネちゃんアプリで議会中継(生配信)をしているほか、過去に開催された本会議、予算・決算審査特別委員会の映像はYouTubeのウェブサイトで公開しています。

今後の議会(予定)

9月定例会：令和6年8月30日(金) 開会
 令和6年9月 3日(火)、4日(水) 一般質問
 令和6年9月13日(金) 議案審議、閉会



※令和6年9月6日(金)、10日(火)、11日(水)には、令和5年度決算審査特別委員会を開催予定です。
 ※正式な日程は告示後、飯館村議会ホームページにてお知らせいたします。

議会の様子はスマートフォンやタブレット端末でもご覧いただけます。専用アプリでQRコードを読み取り、ご視聴ください。(ご利用の際、インターネット等の通信料は個人負担となります。)

議会中継配信(ライブ)はこちらから→
 (中継配信サイトは、議会開会中のみ接続
 できます。閉会中は接続できません。)



過去の映像配信はこちらから→
 (YouTubeのウェブサイトでご覧
 いただけます。)



ズバリ 村政

ここが
ききたい!!

一般質問 Q&A

6月定例議会の一般質問には5議員が登壇し、村行政の考えや対応策について問いました。質問順に質疑応答を要約し掲載しています。

ページの都合上、全ての議論を載せることはできません。ホームページには、本議会の会議録を掲載しているほか、各議員のページのQRコードを読み取ると、一般質問の配信動画を見ることができます。併せてぜひご覧ください。

※ご利用の際、インターネット等の通信料は個人負担となります。

※配信動画の視聴にあたり、ご不明な点は議会事務局へお問い合わせください。

横山秀人 議員 P6

- 1 村民がわくわくする事業の開催について
- 2 イベントや行事等の積極的な広報について
- 3 村民の生涯学習の推進や学び直し等に向けた情報提供について
- 4 村内案内看板等の内容確認と撤去・修繕・新設について
- 5 村民が、村づくりに参画しやすい方法について
- 6 原発事故により全村避難となった当村の特殊事情を踏まえた、民有林等の土地管理について
- 7 今後の住民票の在り方に関した、避難12市町村の統一見解と国等への要望について

佐藤八郎 議員 P5

- 1 放射性物質の存在について
- 2 国への要望について
- 3 原子力損害賠償紛争審査会への要望について
- 4 あいの沢の整備について
- 5 村民のインフラ整備について
- 6 村長の発言について

花井 茂 議員 P7

- 1 行政のデジタル化について
- 2 自主財源確保について
- 3 村政運営について

佐藤眞弘 議員 P8

- 1 令和6年度の希望の里学園の教育施策について
- 2 多発する自治体職員の不祥事を発生させない対策について

佐藤健太 議員 P9

- 1 村の政策について

※一般質問とは

議員が村の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針案等について、村の執行機関などの見解や取り組みについて質問し、提案・誘導していく製作議論です。





佐藤 八郎 議員

動画視聴は
こちらから



質 自然環境は安全か。賠償問題は終わったか

答 これまで通り安心・安全に。賠償は「3つの誓い」を遵守し、進めるよう求めます

質問 原発事故後に放射性物質が、村全体の約230㎡に降参されているが、13年過ぎて「除染（放射性物質を除去し、隔離した）面積」は、この度の長泥地区を含めると村全体の何%と確認しているのか伺う。

答弁 長泥地区では81.7%であり、村全体では約25%であります。

今後については未定となっており、放射性物質に対する早急な対応をされるよう国・県に要望します。

質問 前の質問と答弁は分かったが、私の知る調査面積とは違っている。13年過ぎて、未除染地は村全体の約84%と考えると、未除染地における「危険地」として、安全を守るた

め」に標識や安全ロープを張るべきではないか。

答弁 未除染地の代表的な地点は山林ですが、長泥以外の山林は避難指示が解除されており、立入禁止区域措置等は所有者の権限に属します。村が標識やロープを張って山林等への入場を規制することはできません。

⑤ 村に環境省からの調査資料をいただき、回答するよう求めている。

村の県道と東北中央自動車道との関係はどうなるか併せて399号線は

質問 国へ要望されている「東北中央自動車道」からのアクセス道路と、国道399号線の整備について、見通しと計画を示していたきたい。

答弁 県相双建設事務所と村が県道浪江国見

線の現地踏査を行っており、現状把握、課題共有のための活動を重ねています。

国道399号線については、9市町村での要請活動を行っています。村の第6次総合振興計画に明示した「人口増加策」に必要な不可欠な道路として、整備実現に向けた取組を進めてまいります。

村民が、損害賠償を村に要望すると、個々のことは個でとっているが

質問 東電・国は、村民に寄り添った賠償として「3つの誓い」と言うが、これまで裁判・ADRなど被害者である村民は努力されているが、そのやり方では、うようにいかないのは、村長・村役場が「村民の立場」で支援をしないからではないか。

答弁 村としては「3

つの誓い」を厳守して、賠償事務を進めるように求めています。これまで同様、東電からは、全社を挙げて対応していく旨の回答を得ております。（※賠償については再質問をしたが答弁無し）

観光拠点の「あいの沢」整備は

質問 あいの沢の整備が進められているが、本年度の計画と次年度の見通しは。計画・事業費（内訳など）・運営体制・人材教育の成果をどのように求めるのか。

答弁 事業費2179万円を計上し修繕を進め、また利便性向上のためにWiFi通信環境改善工事を実施



▲村民の森「あいの沢」

し、集客増加を目指します。次年度以降は、財源確保に努め、新たなキャンペーンエリアの整備や各施設の付加価値向上を図るための事業を実施します。

インフラ整備とは

質問 村民生活のインフラ整備の買い物・病院等の足の確保と交通網を伺う。

答弁 村では交通支援としては生活支援ワゴンの運行（診療所通院・週3回川俣町での買い物）。また、村外の介護施設等を利用するため村外在宅サービス等送迎事業・地域お助けあい事業により登録した村民による村内の通院、買物等への送迎も実施。村内の公共交通は、福島交通株式会社による福島駅と原ノ町駅を結ぶ路線バスがあります（1日6往復、村内に17か所の停留所）。



横山 秀人 議員

動画視聴は
こちらから



質 村内にある案内看板等の内容確認と修繕・新設を！

答 簡易看板等の活用も含め、修繕・新設等を進めます

質問 既がない施設の案内板や一部が欠けた案内板等がある。内容確認の上、撤去・修繕・新設をすべき！（令和5年6月定例会一般質問に同様の質問をする。状況が変わっていないため、再度質問。）

答弁 今後、より効果的に来村者を案内できるような、簡易看板等の活用も含め、実態にあった修繕・新設等を進め



▲(左)マラソンコース案内一部破損
(右)ほんの森いいたては令和2年に閉店

所有者が管理できない民有林等は、国・県・村で検討を！

質問 所有者が管理できない民有林等を自治体が購入する実例（新聞報道・他県2町）があります。

原発事故により全村避難となった飯館村の特殊事情を踏まえ、国・県・村にて購入も含め検討すべき。

答弁 民有林等については、事業目的がないものについては村が購入することは現段階では考えていません。木質バイオマス発電施設の誘致により、不採算財産と見なされていた森林に新たな価値が生まれ、一定の経済効果が地権者に還元される仕組みが整ってきています。今後、この取組みを広く周知します。

避難12市町村で住民票についての統一見解を！

質問 中核市市長会（福島市・郡山市・いわき市等）では、長期避難者の住民票のあり方について、改めて方向性を示すよう関係省庁に提言書を提出しました。村も含めた避難12市町村においても「避難者の立場」で住民票についての統一見解を国等に提言すべき。

答弁 長期避難者に係る住民登録制度などの特例措置の継続を、国等に要望します。

村民の約67%が村外に居住。村づくりへの参画方法は？

質問 20行政区で住民懇談会が行われているが、参加できない村民に、村づくりへの参画をどのような方法で行うのか。

答弁 村では目的を明確にしたアンケート等を、必要な時期に実施してきました。令和7年度の完成を目指す第7次総合振興計画の策定の中で検討します。

村民交流バスツアーの実施を！

質問 村民再会の場、村民交流の場の一つとして、村主催の村民交流バスツアーの開催を！

答弁 平成25年から3年間行ったバスツアー「村民ふれ愛号」が考えられますが、現時点では、村の再生等を知っていたら「村内1日留学事業」に力を入れます。

イベントや行事等を見やすく広報すべき！

質問 村HP等で広報されているイベント・行事情報がわかりづら

い、情報が少ないとの声が多い。

答弁 村民の方の声を聞きながら、村HP・公式LINE等によるイベント情報を、より見やすく、より分かりやすくお知らせします。

生涯学習の推進、学び直し等の情報提供を！

質問 生涯学習等の推進に向けて、会員募集のサークル・スポーツ団体をまとめた一覧、村内講師一覧の作成・配布等が必要。

答弁 現在、情報発信及び団体等の相談窓口は、生涯学習課で実施しています。より活動機会の充実を図るため、検討、実践を重ねます。





花井 茂 議員

動画視聴は
こちらから



質 10月の村長選挙に向けての考えは

答 次の村長選挙については、村政を担う覚悟を持って臨んでいきたいと考えています

質問 杉岡村政がスタートして間もなくコロナ禍となり、大変苦労されたと思うが、商業施設の誘致や産業団地構想等の整備・農業・商工業等再生に向けた実績を諸々と積み上げてきたところで、任期満了に伴い10月に行われる村長選挙について村長の考えを伺う。

答 今の4年間で積み重ねてきたものは、これは村民の皆様のご理解協力、それに職員の間からの努力そして未来への挑戦です。その意欲の表れとして今が在ると捉えています。尚この4年間でしっかりと務め上げることのできる4年間に向かってもしっかりと務めたいと思っております。次の村長選挙について

ては、しっかりと私として村政を担う覚悟を持って臨んで行きたいと考えています。

行政のデジタル化の進捗は

質問 国が推し進めている、自治体DX推進計画（デジタル・トランスフォーメーション）の重点取り組み事項について、本村においてどの程度の進捗状況にあるか。

答 ※自治体DXとは：行政手続きのデジタル化や行政内部のデータ連携などを通じて、住民の利便性向上と業務効率化を図るものです。

答 今までも、時代の変化に対応するために不断の改善を図ってきておりますが、近年の具体的な取り組みとしては、自治体情報システムの標準化・共通化について、全18業務のうち今年度は17業務のシステム改修を進めており、令和7年度中に健康管理業務を改修することにより全業務に対応することとしております。

今後も「村情報化推進委員会」を中心に自治体DXを推進してまいります。

質問 自治体DX推進により、村民へのサービスがどのように変化して行くのか具体的な例と取り組みを伺う。

答 具体的な取り組みとして、マイナンバーカードを活用した行政手続きのオンライン化による住民票や印鑑登録証明書等のコンビニ交付を実施しており、これらは村民の皆様が役場の窓口へ足を運ぶ必要がなくなり、また役場の業務効率化にもつながります。



▲コンビニ交付のイメージ

ことなく、また役場の開庁時間外でも申請・取得が可能となっております。

このほか、令和6年3月から戸籍証明書の広域交付が可能になり、さらに村でも令和5年度から税金の電子納付を開始するなど、村民の利便性向上につながる取り組みを進めてきております。

今後の本村における財政の見通しは

質問 令和7年度をもつて終了する「第二期復興・創生期間」以降の本村における財政の見通しを伺う。

答 「第二期復興・創生期間」以降の交付金事業につきましては、これまでもあらゆる機会を通して国・県に対して事業の継続を要望してきております。また、財源の根幹となる普通交付税についても、

人口激減緩和措置などの特別措置の継続を要望して来ており、今後とも引き続き要望活動に尽力してまいります。

質問 今後は自主財源確保のためにも、あらゆる可能性を排除せず追求すべきと考えますが、どのような施策を想定しているか。

答 自主財源確保の施策については「第6次総合振興後期計画」に基づき、なりわい人口の増加と住基人口の減少を緩やかにし、村の農林畜産業や商工業の振興と併せて新たな企業の誘致、または産業の創出による雇用の拡大を進めます。さらには、移住・定住の促進、観光拠点の整備など交流人口・関係人口の増加を図ることで地域経済活動の活性化を促し個人・法人の税収等の増加を図り自主財源の確保に努めてまいります。



佐藤 真弘 議員

動画視聴は
こちらから



質 令和6年度の希望の里学園の教育施策について伺う

答 今年度も学校教育指導の重点を作成し、取り組んでまいります

質問 教育長不在のなかどのような重点目標、重点施策に取り組むのか伺う。

答弁 今年度の教育目標を「竹のようにしなやかに、すくすくと」生きる力を育む」とし、知徳・体の3つの柱を基本として幼保小中一貫した学びを推進してまいります。

今年度においても学校教育指導の重点を作成し、5点の重点施策に取り組むこととして

います。1点目は「いたて学の発展」、2点目は「算数・数学の充実」、3点目は「ICT機器の活用」、4点目は「読書活動の推進」、5点目は「教育研修の充実」です。

質問 金融教育について

て、現在、貯蓄から投資の時代となっており、金融構造も複雑化している。新たな金融商品もパソコンや携帯電話でも取引できる時代となった。金融教育の充実を図り、金融トラブルに巻き込まれないよう金融教育を実施していただきたい。

答弁 金融教育の取り組みについては、2022年4月から学習指導要領の改訂によって義務化されており、社会や技術・家庭の授業において学習しております。また、税務署職員を講師に迎え毎年、租

税教室も実施しております。



▲希望の里学園の授業の様子①

ます。
質問 薬物乱用防止教室の取り組みについて伺う。



▲希望の里学園の授業の様子②

答弁 薬物乱用防止の取り組みについては、学習指導要領に沿って6年生、8年生の保健体育の授業で指導を実施し、毎年、保健所職員を講師として薬物乱用防止教室を開催しております。

自治体職員の不祥事の未然防止を！

質問 自治体職員の不祥事件が県内で多発しているが、当村における不祥事件防止策はどのようにされているか

村の取り組みを伺う。

答弁 村では職員の採用時に総務課長より研修の中で不祥事件防止について講話し、その重要性について強く伝えております。職員全般については、庁議等で不祥事件防止について共有するとともに課長を通じて各課職員にも不祥事件を起こすことのないよう指示しているところとです。

また、ふくしま自治研修センターにて、経験年数に応じた各種研修にて不祥事件防止のための講義を受講させております。

質問 コンプライアンス研修、ハラスメント研修はどのようにされているか伺う。

答弁 飯館村職員不祥事防止のための行動指針を作っております。その中で不祥事の背景等、コンプライアンスの取り組みを細かく表

示しながら進めています。

質問 福島県庁では、不祥事件を受けて防犯手帳等をつくって職員に配付するという取組もあるようだ。村として、不祥事防止のためにどのような取組をするかどうか伺う。

答弁 他自治体の例も考慮しながら、今後、必要に応じて導入してまいります。

職員を守るとい部分とコンプライアンス遵法主義の部分、そのところをしっかりと両立できるように村としても必要な取組について検討して、あるいは実施をしていきたいと考えております。



佐藤 健太 議員

動画視聴は
こちらから



質 村の農業政策の今後目指しているところを伺う

答 農林畜産分野に新規に就業する人材を令和12年度までに約50人増加させる事としております

質問 村の農業政策の現状と今後目指しているところを伺う。

答 令和元年度から農地中間管理事業を活用して農地集積を進めてきた結果、これまで512ヘクタールの集積が完了しており、さらに今後17地区での農地集積を計画しているところではあります。

また、人口増加策を共通重点事項として位置づけ、なりわい人口を約170人増加させる事としており、特に農林畜産分野に新規に就業する人材を令和12年度までに約50人増加させる事としております。このため、飼料生産などによる大規模な農用地活用や飯舘牛ブ

ランドの再生・新生にも直結する畜産及び新たなブランドを創出する経済性が高い土地利用型農業や高収益型農業、そしてゼロカーボンビレッジといった実行計画に基づく脱炭素を含めた多様な農業の振興による魅力あふれる、未来志向型農業体系の構築を目指してまいります。

村の林業政策の現状と今後は

質問 村の林業政策の現状と今後目指しているところを伺う。

答 林業政策の現状としては、ふくしま森林再生事業、広葉樹林再生事業を活用する森林整備を行っており、令和5年度には100ヘクタールほどの間伐や更新伐を行うなど規模の拡大を進めてまいります。

今後は、森林再生に向けた検討報告書をもとに、林業の一層の発展と里山の再生を図ってまいりたいと考えております。

また、発生した間伐材等を木質バイオマス発電所の燃料として供給、活用することで長期間の森林整備が可能となり、脱炭素社会の構築に資する林業体系への発展と働く場の創出を進め、なりわい人口、定住人口の増加につなげてまいりたいと考えております。

村の商工業政策の現状と今後は

質問 村の商工業政策の現状と今後目指しているところを伺う。

答 村としては、個人起業家への支援と併せて企業進出や事業投資などの支援を行うことで村内の商工業の一層の活性化を図り、第6次総合振興計画後期計画に位置づけた、なりわい人口の増加を着実に進めてまいります。

村の今後の産業構造と、企業誘致の戦略は

質問 村の今後の産業構造をどの様に考え企業誘致をどの様な戦略を持って進めているのか伺う。

答 村としては、震災前からの産業構造の変化も踏まえながら、各産業が専業、兼業に関わらず多種多様な在り方によって一層活性化することが必要であると考えております。また、村の活性化のためには、村内での雇用の場を確保しなりわい人口を増やすことが必要不可欠であり、企業誘致、企業発展のための産業団地の整備等を積極的に進めているところです。

今後も、引き続き雇用の場を確保し、なりわい人口を増やす施策、村の各種産業の振興、発展につながる施策を展開してまいります。



▲森林再生事業を行った現場(深谷)

審議結果

令和6年第3回（4月）臨時会では予算案件1件、条例案件4件、その他案件7件が提案され、審議の結果は下記の通り議決されました。

- 議案第30号 令和6年度飯舘村一般会計補正予算(第1号)
- 議案第31号 飯舘村新規就農者技術習得管理施設設置条例
- 議案第32号 飯舘村税条例の一部を改正する条例
- 議案第33号 飯舘村国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- 議案第34号 東日本大震災に伴う村税の減免に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第35号 営農再開支援水利施設等保全事業(飯舘西部その1)農業用排水路施設等補修工事(笹峠第2ため池)請負契約について
- 議案第36号 農業水利施設等保全再生事業 営農再開支援水利施設等保全事業(飯舘西部その1)ため池放射性物質対策及び補修工事(大宮作ため池)請負契約について
- 議案第37号 農業水利施設等保全再生事業 営農再開支援水利施設等保全事業(飯舘西部その1)ため池放射性物質対策及び補修工事(百目木ため池)請負契約について
- 議案第38号 農業水利施設等保全再生事業 ため池放射性物質対策工事(笹ノ沢第1ため池)請負契約について
- 議案第39号 農業水利施設等保全再生事業 営農再開支援水利施設等保全事業(飯舘西部その1)ため池放射性物質対策及び補修工事(田尻ため池)請負契約について
- 議案第40号 土地の取得について
- 議案第41号 飯舘村新規就農者技術習得管理施設の指定管理者の指定について

令和6年第4回（6月）定例会では予算案件4件、条例案件3件、その他案件9件が提案され、審議の結果は下記の通り議決されました。

- 議案第42号 令和6年度飯舘村一般会計補正予算(第2号)
- 議案第43号 令和6年度飯舘村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
- 議案第44号 令和6年度飯舘村介護保険特別会計補正予算(第1号)
- 議案第45号 令和6年度飯舘村農業集落排水事業会計補正予算(第1号)
- 議案第46号 村長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例
- 議案第47号 東日本大震災に伴う国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第48号 東日本大震災による被災者が属する世帯の第1号被保険者に対する介護保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例
- 議案第49号 村道舗装機能回復工事請負契約について
- 議案第50号 農業用機械購入(令和6年度飯舘村被災地域農業復興総合支援事業農業用機械購入)の取得について
- 議案第51号 飯舘村教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 議案第52号 飯舘村農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 議案第53号 飯舘村農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 議案第54号 飯舘村農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 議案第55号 飯舘村農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 議案第56号 飯舘村農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて
- 議案第57号 飯舘村農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて

常任委員会活動報告

産業厚生常任委員会

5月16日、飯館村振興公社機械導入による事業計画の聞き取り、施設利用状況にかかる現地調査を行った。

●結果

現在の状況確認

振興公社の従業員は20名で、うち9名が農業関係に従事している。また、年度別事業実施計画と終始計画に基づき事業が実施されている。

聞き取り

被災地域農業復興総合支援事業において村が農業用機械21台を購入して振興公社に無償貸与している。また、機械は農地中間管理事業で使用し、振興公社が関沢市内の倉庫を有償で借りて保管している。

今後の諸課題

条件のよい広い面積



▲所管事務調査(現地調査)

●所見

原発事故等の影響により、農地の荒廃や山間地域の農業の衰退が懸念されるなか、村は長期事業計画を策定

の農地ではなく、条件の悪い中山間地の小さな面積の農地を村と振興公社が一体となって整備すべきではないか。
・自立した経営をしていくためには、作付け品目を見直しも含め、先を見越した売れる品目づくり等も考えていく必要がある。
・農機具が野ざらしになっていた。計画的に保管されるべきである。

総務文教常任委員会

5月23日、移住・定住事業の現状と課題について調査を行った。

●結果

・飯館村の移住者数は令和6年3月末までで180名、122世帯。
・「移住相談窓口の運営業務」においては、令和5年度実績で累計相談人数249組(うち

し、農地中間管理事業を活用し効率的な農業を振興している。受託先である振興公社においては、責任を持つて機会を補完し管理状況をチェックすると共に、事故防止のための安全管理マニュアルを作成して管理していくことが望まれる。
また、事業が計画どおり実施されているか変更する必要があるのか、引き続き内容や事業量答の調査を継続していくべきである。



▲所管事務調査(聞き取り調査)

●所見

・既に移住している移住者の思いや抱える問題を把握のために先輩移住者の思いや声を聞き出す取組、移住者同士が交流できる取組を進めるべきである。
・飯館村を広く、有効に知らせる手段は継続的に検討していくべき

・移住相談は143組)となっており、「までない家」に常駐している他、各種イベントにも参加し、移住希望者・検討者の相談に当たっている。令和6年度からは愛称を「3ドルオープンした。」

議会の主な動き

(4~6月)

である。
・移住定住を進めるにあたり、住居の整備は急務。令和6年度事業の「草野地区移住定住促進住宅」の建設に合わせ、空き家バンクへの登録も継続して推進すべきである。

《6月》

- 10日 議会運営委員会
- 14日 全員協議会
- ・第4回定例会開会
- ・各常任委員会
- 18日 第4回定例会

- 19日 第4回定例会 (一般質問)
- ・全員協議会
- ・議会運営委員会
- 21日 全員協議会
- ・第4回定例会 (議案審査・閉会)
- ・広報編集特別委員会



▲6月定例会の様子

- ・既に移住している移住者の思いや抱える問題を把握のために先輩移住者の思いや声を聞き出す取組、移住者同士が交流できる取組を進めるべきである。
- ・飯館村を広く、有効に知らせる手段は継続的に検討していくべき
- 23日 総務文教常任委員会
- 16日 産業厚生常任委員会
- 21日~22日 町村議会議長・副議長研修会
- ・第3回臨時会本会議
- ・全員協議会
- ・議会運営委員会
- 25日 議会運営委員会
- 24日 全員協議会
- ・広報編集特別委員会
- 11日 広報編集特別委員会

追跡調査!!

議員が定例会で行う一般質問や予算・決算審査での総括質疑。この記事では過去の質問や提案の一部を取り上げ、その後の村政にどう活かされているのか追跡します。



あの質問・提案その後 どうなった

交流センターの土日等の鍵の開閉をどうするのか！

議員からの質問・提案

交流センターの土日等カギの開閉・セコムの設定・解除は、借主ではなく職員や委託先で行うべき。

(令和4年6月定例会
※議会だよりNo.95号
掲載)

村からの回答

村としては、今後も利用者のご理解ご協力をいただきながら、自主管理を併用した管理を続けてまいりたいと考えておりますが、社会教育委員会や施設利用の者の生の声を聞いて検討します。

追



村職員で対応することになりました

社会教育委員会での協議やアンケートの分析、不便と感じている利用者の生の声を聞き、令和5年4月より、交流センターの鍵の開閉、セコムの設定・解除は、職員が行うことになりました。



企業版ふるさと納税の取り組みを実施すべき！

議員からの質問・提案

地方創生応援税制である「企業版ふるさと納税」を村でも実施すべき。

(令和4年6月定例会
※議会だよりNo.95号
掲載)

村からの回答

令和3年度に制度の適用要件である「地域再生計画」を策定し、企業版ふるさと納税の受け入れ体制を整えてまいります。



追



受け入れ可能となりました

令和5年3月より企業版ふるさと納税の受け入れが可能となり、村ホームページ等で広報しています。

※「企業版ふるさと納税」とは、企業が地方公共団体の地方創生の取組に対し寄附を行った場合に、法人関係税を税額控除するものです。企業として地域振興やSDGsの達成など社会貢献ができるほか、法人税の高い軽減効果を受けられるメリットがあります。

ホームページは
こちらから⇒



発行責任者 議長 高橋 孝雄

編集 広報編集特別委員会

委員長 佐藤 健太

副委員長 佐藤 真弘

委員 佐藤 一郎

横山 秀人

花井 秀茂

飯畑 秀夫



まだ梅雨明けしないのに連日猛暑が続いている。地球は温暖化を通り越して沸騰化の時代になっていると専門家が指摘している、地球のどこかでは常に異常気象による災害が起きている、ある意味で地球からのメッセージなのかもしれない人類の持つ英知と科学の力で止められないのか、切に願うばかりである。

編集後記